

当事者団体等からいただいた主な意見

境港市精神障害者家族会	計画への反映や今後の方針等	プラン
<p>特別医療費助成が数年前に2・3級も対象になったが、非課税世帯のみなので、対象者を拡げてほしい。</p>	<p>精神障害者保健福祉手帳2・3級を所持している方についても、令和3年7月受診分から市単独で助成対象としました。その際、県内他市町村の状況や既に対象としていた身体障害者手帳3級・療育手帳Bを所持している方への助成内容も踏まえ、住民税非課税世帯を助成対象としました。</p> <p>特別医療費助成制度は、特に医療費の助成を必要とする方への助成制度であり、一定の所得制限を設ける必要があると考えておりますので、現在のところ助成要件を拡大する考えはありません。</p>	
<p>精神障がい者の相談員を市から任命してほしい。</p>	<p>精神障がいに関する市民からの相談等については、市であれば、主に保健師がお話を聞かせていただいておりますが、相談員について、県内の状況等について調査し、検討したいと思っております。</p>	
<p>精神障害者保健福祉手帳の更新の際に必要な診断書料について助成してほしい。</p>	<p>他市町村の状況や動向を確認しながら、検討したいと思っております。</p>	

境港市障がい児者育成会	計画への反映や今後の方針等	プラン
<p>重度の知的障がいのある方は、多動や奇声が出ることがあり、境港市民図書館の利用がしづらいので、利用しやすくしてほしい。</p>	<p>図書館運営にあたり、ミッション2に「多様な利用者への対応を目指したサービスと場を提供します。」と掲げ、障がいの有無にかかわらず、誰もが利用できる図書館を目指しています。だからこそ、気になさらずにどんどん来ていただき、利用していただきたいと願います。本人の意思に関係ない、多動であったり奇声であったりを図書館職員が咎めることはありません。当然そういった状況であっても、図書館として他の利用者の方にも理解していただく努力はしていきます。さらに、図書館として受け入れていただく雰囲気や、気になること・心配なことがあれば、図書館職員に気軽に相談できる雰囲気や体制をつくっていきます。また、公共施設でもあり教育施設でもある図書館を、いろいろな方と一緒に過ごすにはどうしたらよいかを少しずつでも学ぶ場に使ってもよいと考えています。例えば、休館日などに、職員とともに利用の仕方を学ぶ時間をとったり、館内に慣れる時間をとったりすることで、ご本人や保護者・関係者の方が安心したり自信がついたりするのであれば、図書館はそういった機会をぜひとりたいと考えています。</p>	<p>P.24 追加</p>
<p>日常生活用具給付事業で紙おむつへの給付もあるが、20歳未満の療育手帳A所持者の方だけでなく、対象者を拡大してほしい。</p>	<p>令和3年度に対象者を拡大し、左記の方にも現在給付を行っているところではありますが、近隣の市町村と格差が生じることのないよう、調査を進めていきたいと思ひます。</p>	<p>P.22</p>
<p>障がいのある家族を病院へ連れていったときのサポート体制を充実させてほしい。</p>	<p>病院だけでなく様々な場面において、障がいのある方に対して手助けや配慮を実践することが、障がいのある方が暮らしやすい社会を作っていくことにつながっていくと思ひますので、あいサポート運動をさらに広げていくために、あいサポート運動を委託しております団体とも連携していきたいと思ひます。</p>	<p>P.29</p>

境港市障がい児者育成会	計画への反映や今後の方針等	プラン
<p>ほっとはあとイベントにおいて、障がいのある方と一緒に何かを作ったり、一緒に運動したりということがあると、さらに障がいに対する理解が広がると思う。</p>	<p>今年度実施しましたほっとはあと福祉イベント終了後、実行委員会にて振り返りを実施し、来年度実施しますほっとはあと福祉イベントは、障がいのある方とない方が交流できるようなイベントにする方向となっておりますので、来年度も引き続き、実行委員に入っただき、一緒に考えていけたらと思っています。</p>	P.29
<p>重度の知的障がいのある方が入居できる24時間対応のグループホームを市内に設置してほしい。</p>	<p>これまで、圏域の事業所との意見交換や、市内の障害福祉サービス事業所へのアンケートを行った結果、安定的な経営をするにあたり、報酬単価の低さなどが指摘されたことから、事業者の安定的な運営及びサービス提供が可能となるように、報酬単価の見直しなどの必要な措置を講ずるよう全国市長会を通じて、国に要望しております。今後も引き続き要望してまいります。</p>	P.21 P.26

境港市身体障がい者福祉協会	計画への反映や今後の方針等	プラン
<p>障がいのある方や高齢の方が運動機能を回復できるようなトレーニング施設があるとよい。</p>	<p>市民体育館にもトレーニング器具を整備しており、開館時間（午前9時～午後10時※水曜日、年末年始は休館）であれば、いつでもご利用いただけます。利用料金（1時間）は小中学生30円、高校生40円、一般70円と利用しやすい金額となっております。なお、障害者手帳またはミライロID（アプリ）を窓口でご提示いただくと利用料が免除されます。</p>	P.26 追記
<p>文化ホールの駐車場が正面入り口から遠く、足が不自由な方が困っている。裏口に障がいの方用の駐車スペースを確保して、裏口から入れるようにしてほしい。</p>	<p>現在、文化ホールの改修工事を予定しており、文化ホールの正面入口から東側（県道側）の位置にも新たに駐車場を整備し、入口に近い区画（3台分）を多目的駐車場にするとともに、正面入口付近に屋根付き多目的駐車場（2台分）を整備する予定です。</p>	P.26 追記

障がい当事者及びご家族の方	計画への反映や今後の方針等	プラン
<p>音に敏感な障がいのある子にとって、運動会等で使われるピストル音はとても恐怖である。ピストルにこだわらず笛に変えるなどの配慮を適宜してほしい。</p> <p>こういった子どもたちが一つでも苦しむと思うことを取り除いて、楽しく学校生活を送ることができるようにしていくこともインクルーシブ教育ではないのか。</p>	<p>聴覚・視覚・触覚・臭覚などの感覚が過剰に敏感な児童・生徒が一定数、小中学校に在籍していることは認識しています。現在、本市もインクルーシブ教育を進めており、児童・生徒に対しては、保護者相談、園からの引継ぎ、医療関係との連携などを通して、特性に配慮した支援を行っているところです。</p> <p>多人数で一斉に行う授業や行事、特に大きな音が出る行事については、スピーカーの音量を下げたり、大きな声での指導を控えたり、また、当該の児童・生徒がノイズキャンセラーの使用、その場を一時的に回避させたりするなどの配慮を行っているところです。</p> <p>すべての子どもたちが参加する学校全体の行事について、その運営や教育効果を総合的に勘案し、合理的配慮のあり方について、今後も検討し改善できることは行っていく所存です。また、教職員への啓発も進めていきます。スタートの際のピストルの使用については、実態を把握した上で、使用について学校と協議していきます。</p>	P. 24 追記
<p>1歳や3歳児健診の際に発達障がいの疑いがあるかもしれないことを何かお知らせしてもらえらる機会があるとよい。</p>	<p>幼少期において発達障がい疑われる場合、「目が合わない」、「言葉が遅い」、「他の子に関心がない」等の特徴が挙げられますが、発達状況は個人差もあり、発達障がいかどうかの見極めが難しい場合があります。</p> <p>健診時には、お子様の問診や診察の他、保護者の方からご家庭の様子やご心配の有無等をお伺いしながら、発達状況についてお伝えしています。発達障がい疑われ、保護者の方もご希望やご不安がある場合は、医療機関の受診や再健診をお勧めしています。</p> <p>また、保護者のご意向によって、受診を希望されない場合など、ご家庭や保育園で経過を見て、発達状況に応じた手立てをお伝えしております。併せて、子育てに関して、いつでも気軽にご相談いただける体制を整え、対応しているところであります。</p>	P. 21

障がい当事者及びご家族の方	計画への反映や今後の方針等	プラン
<p>学校や保育園によって先生の対応が違うことを耳にすることがあるので、どこの学校や園に行っても発達障がいのある子やそれ以外の子も受け入れができる体制にしてほしい。</p>	<p>学校におきましては、管理職や教職員が特別支援教育の視点をもって、どの児童生徒にとっても安心安全な学校づくりを進めていくことが大切であると考えております。そのために研修を充実し、特別支援教育主任の育成、また、特別支援教育主任を中心とした校内研修に努めたいと考えております。</p> <p>また、幼稚園・保育園・認定こども園等におきましては、障がいのあるお子さんが安心して園生活を送ることができるよう、必要な保育士等を配置しており、園で勤務する保育士等を対象とした、「発達支援勉強会」を年4回開催し、障がいのあるお子さんへの関わりや、支援の方法などをともに学び、実際の保育に活かしております。また、相互公開保育、年齢別研修会を実施し、学ぶ取り組みを行っており、各施設の特色を生かしながら、保育の質や子どもへの支援、保育環境の向上に努めております。引き続き、障がいの有無に関わらず、市内のどこの園に通っても、子ども達の育ちが等しく保障されるよう、努めてまいります。</p>	<p>P.24 追記</p>
<p>特別児童扶養手当のことを知らない人がいる。検索しないとわからないサービスがたくさんあるので、わかりやすくしてほしい。障がいのある子が利用できるサービスがわかれば、すごく選択肢が広がって、助かると思う。</p>	<p>毎年4月号の市報に特別障害者手当、障害児福祉手当と併せて制度案内を掲載するとともに、市のホームページにも掲載をしています。また、障がいのある児童が利用できるサービスとして、市内の児童発達支援・放課後等デイサービス事業所について記載したものをホームページに掲載しているほか、パンフレットを作成し、窓口に配架しておりますが、その他のサービスについてもわかりやすくまとめたものを今後作成していきたいと思っております。</p>	

障がい当事者及びご家族の方	計画への反映や今後の方針等	プラン
<p>放課後等デイサービス等を利用する際に開催されるサービス担当者会議への出席などが、学校によって考え方が違って、みんなで障がいのある子を支えていかないといけないのに、とても残念なので、改善してほしい。</p>	<p>特性や障がいのある児童・生徒について、関係機関との引継ぎや連携が必要であることは承知しております。現在、学校では、主に支援計画を作成し、それに基づき、保護者との話し合い、校種間の引継ぎ、医療機関、療育機関との連携を行っているところです。支援が必要な全ての児童・生徒について、関係者とのきめ細かな連携が必要であることは承知しておりますが、学校現場としては、その時間確保に苦心している状況もあります。関係する者同士が、信頼関係に基づき効率的で有効な連携の在り方について今後も学校現場と協議し、模索していきたいと考えております。</p>	P.21
<p>移動支援事業で利用している事業所が日曜日休みなので、日曜日でも利用できるようにしてほしい。</p>	<p>土日祝日は、相談により対応している事業所もありますが、人員不足により全てのご要望にお応えすることが、難しい状況にあるようです。ご意見があったことは、境港市障がい福祉サービス事業所連絡会で伝えさせていただきます。</p>	P.26
<p>境港市民図書館において発達障がいのある子が少し騒いでしまうこともあり、注意をされることがあり、居づらさを感じる。どんな人でも利用できるように、例えば区分けなど、そういった子向けに部屋を確保するなど、なにか配慮があると開かれた図書館になると思う。</p>	<p>「境港市障がい児者育成会」での意見への回答と同様。 また、区分けについては、図書館の中に、スタディールームとコワーキングルームという部屋があります。どうしても、動きや声が気になる利用者を促すことはできません。 障がいがある方を受け入れる雰囲気づくりを、図書館をはじめいろいろな場面で考えていく必要があります。</p>	P.24 追記
<p>子どもが、公共の場でほんの数十分位しかじっとしていることができず、動きたがったり、大きな声で話をしたりする。人の目が気になるので、あまりコンサートや公演などつれていけないようにしているが、そういった子どもでも行ける公演やコンサートがあるとうれしい。</p>	<p>境港市民交流センターの市民ホール客席後方に、親子鑑賞室（個室）が整備されており、周りを気にすることなく、市民ホールでの公演やコンサートをお楽しみいただけます。管理事務室窓口で申し出いただくと、ご利用できますので、ぜひご活用ください。</p>	

障がい当事者及びご家族の方	計画への反映や今後の方針等	プラン
<p>障がいのある子どもの登校時のはまる一歩バスの利用を無料にしてほしい。また、バスの席も特に雨の日などで利用が多いと、立つこととなり、危ないこともある。障がい者用の席があると嬉しい。運転手の声かけも人によって差があり、障がいのある子どもにとって優しい環境ではない。障がいのある子どもがもっと学校へ行きやすい環境を整えてほしい。無料が難しいのであれば例えばスクールバスがあれば、保護者も子どもも安心するのではないかと思う。</p> <p>はまる一歩バスに乗った際に、ヘルプカードの認知度も低く、ヘルプカードを鞆につけていても、席を譲ってくれない。バスの中にヘルプカードの案内を貼ったり、困っている人がいることをもっと周りにしてほしい。</p>	<p>はまる一歩バスの運行は、ご利用いただく方々の運賃で支えていただいておりますので、バスの有償運行にご理解とご協力をお願いいたします。バスの利用回数が多い方は、乗車ごとに現金で運賃をお支払いいただくよりも定期券を購入される方が大変格安となり、3カ月間1,500円（障がい者割引）でバスをご利用いただくことができます。優先席につきましては、はまる一歩バスにもありますが、席数に限りがあり、高齢者の利用も多いため、必ずしもご利用いただけない場合がありますので、利用できない場合は運転手にお声かけください。</p> <p>スクールバスについては、現在のところ導入は考えておりませんが、経済的な支援や保護者の寄り添いによる通学が困難な場合の支援については、教育委員会事務局にご相談いただければ幸いです。</p> <p>また、ヘルプマーク（カード）につきましては、バス車内に掲示するとともに、運転手の声かけなどの配慮も含め、市と運転手全員で再確認を行いました。バスの利用者だけではなく、市民の方へ幅広く知っていただけるように、今後も、ヘルプマークの啓発に取り組んでいきたいと思っております。</p>	P.29
<p>市内に肢体不自由児を受け入れる事業所が少ない。米子市内には多くあるが、境港市までの送迎がないため、対応してくれる事業所を増やしてほしい。</p>	<p>市内でも、肢体不自由児の受け入れの実績がある事業所もありますが、定員の関係で受け入れが難しい事業所もあります。また、米子から境港市までの送迎につきましては事業所によって対応が異なるため、一度事業所にご相談いただきたいと思います。</p>	P.21
<p>子どもが大きくなるにつれ負担感が増えてきている。施設という選択もあると思うが、誰もが犠牲にならずに在宅生活が送れるような支援、援助をしてほしい。</p>	<p>障がいのある方が、将来どのように生活していくかの選択肢は様々であり、施設で生活することも選択肢の一つですが、個々の家庭の状況によって、様々な選択肢の中から、親の思いと障がいのある子の意向をしっかりと踏まえた生活スタイルを選ぶことが必要だと考えます。その方にあった生活スタイルと一緒に考えていくのが、相談支援専門員となりますので、気軽に相談していただけたらと思います。</p>	P.20

障がい当事者及びご家族の方	計画への反映や今後の方針等	プラン
<p>長期休暇中の放課後等デイサービスや日中一時支援事業の受け入れ時間の改善をしてほしい。</p>	<p>長期休暇中の放課後等デイサービスの対応時間は、最も開所している事業所で、9：00～18：00までです。日中一時支援事業所についても同様に、月～土まで8：00～18：00まで開所している事業所もあれば、平日9：00～18：00まで開所している事業所もあります。事業所の営業時間は事業所で決めていますので、受入時間改善の要望があることは伝えてみます。</p>	
<p>手当の手続き際の提出書類がとても多い。就労していると市役所の開所時間に行くことが難しく、郵送可となっているが、窓口で手続きが必要なこともあり、何かいい方法を提案してほしい。また、「子育て王国鳥取県」となっているが、障がいを抱えた時点で窓口が別枠となる。障がいの有無に関わらず、子どもらしく育てる環境を作してほしい。</p>	<p>児童手当につきましては、マイナンバーカードを利用した電子申請が可能となっており、窓口にお越しただかなくても各種申請、届出は可能となっております。また、障害児福祉手当、特別児童扶養手当につきましても、窓口にお越しただかなくても、郵送での届出が可能となっております。</p> <p>境港市内の幼稚園・保育園・認定こども園等におきましては、障がいのあるお子さんが安心して園生活を送ることができるよう、必要な保育士等を配置するなどし、一人ひとりの育ちを保障できるよう努めております。引き続き、障がいの有無に関わらず、こどもの主体性、人権を尊重した保育環境を提供できるよう、改めて認識を共有したいと思います。</p>	
<p>休みの日にどこか連れて行っても自由ののびのび遊ばせることが難しく、周りを気にして気疲れし億劫になることもある。障がいの子も達が、自由にスポーツやダンスなどできる施設があるといい。</p>	<p>令和6年度に、境中央公園をリニューアルする予定としており、小さな子どもからお年寄りまで、障がいの有無に関係なく、多世代が豊かな遊びと交流を広げることができるインクルーシブ公園として改修を予定しております。</p>	P.26 追記
<p>仕事の後、買い物等に行きたいので、放課後等デイサービスの閉所時間を18時よりも、もう少し遅い時間にしてほしい。土曜日は10時から17時までだと仕事が短い時間の勤務になってしまうので、長くしてほしい。日曜日・祝日も利用できたらうれしい。</p>	<p>18：00以降も対応可能な事業所はありませんが、事業所によっては土曜日の9：30～17：00まで対応しているところや祝日も受け入れを行っているところがあります。</p> <p>また、18：00以降の預かりの方法としてファミリーサポートの利用が可能です。通常は、7：00～19：00の間での対応となりますが、支援者が対応することができれば、19：00以降でも支援が可能です。</p>	